

2017年5月2日

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

ITクラウドを活用した GLOBAL GAP システム開発について

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン（代表：宮本泰邦）は、ITクラウドシステムを活用した GLOBAL GAP 認証取得システムを開発しました。

当社は2015年1月23日に、みかん・柑橘類では日本初、愛媛県内初で GLOBAL GAP の認証を取得しました。（当社調べ）その後、2016年と2017年の2度の維持更新を行っております。また、JGAPについても2015年1月7日に認証取得し、2016年11月4日に JGAP Advance で認証更新を行っております。

本システムは、GLOBAL GAP の目的である、「食品安全・労働安全・環境保全」を実現し、農業経営強化のためのプラットフォームとして、これまでの当社の認証取得から維持更新までのノウハウを全て反映し低コスト化を実現しました。

今後、本システムの機能強化、使いやすさ、低コスト化をさらに追及し、GLOBAL GAP の普及・深耕に向けた取り組みを推進いたします。

1. 本システムの主な機能および特徴

- 1) 栽培記録（農業日誌） + 収穫・在庫・出荷記録 + GLOBAL GAP 対応(ver.5.0-2)
- 2) web クラウド活用しているためデータの見える化・共有化、パソコン・モバイル・スマートフォンで対応可能
- 3) 使いやすさを追求し、追加変更に柔軟な対応が可能
- 4) 安価で利用可能
- 5) GLOBAL GAP の目的である、「食品安全・労働安全・環境保全」を実現し、農業経営強化のためのプラットフォームを目指している

2. GLOBAL GAP を取り巻く環境

- 1) 国内では約 400 農場に留まっている
- 2) 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックでの食材は、GLOBAL GAP もしくは JGAP Advance の認証取得が必須になる見通しである。
- 3) 既存の導入支援ソフト・コンサルティング費用が非常に高価である。
- 4) 補正予算で GLOBAL GAP 認証審査費、研修費、資材費、記帳ソフト利用費、分析費までの全てを国が負担で 1 億 8 千万円を計上（日本農業新聞・農水省）
- 5) 食品安全・労働安全・環境保全に対する消費者の意識は年々高まっている。

3. 当社 GLOBAL GAP 認証について

■ G G N : 4052852887250

■ GLOBAL G.A.P certificate No.	Product
00050 CHHNC-0002	Mandarins
00050-CHHNC-0002	Oranges

■ 初回認証日 : 2015 年 1 月 23 日

■ 更新認証決定日 : 2016 年 11 月 16 日

※GLOBAL GAP 認証取得は、当社が愛媛県初となります。（当社調べ）

※また、みかん・柑橘類での GLOBAL GAP 認証取得は、当社が日本初となります。（同上）

今後も引き続き、世界最高品質のみかんを目指して、おいしく、安心安全、高品位・高付加価値のみかんづくりを研究・実践し続けます。

当社は、お客さま、お取引先、従業員とその家族全ての生活者に、みかんを通じて喜んで頂きたいの想いがあります。また、みかんだけでなく、野菜・果物の新しい価値創造に努めてまいります。

以上



Agricultural Production Corporation
MIYAMOTO ORANGE GARDEN INC.

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン
〒796-8050 愛媛県八幡浜市川上町川名津甲388
Tel & Fax: 089-989-3605
E-mail: info@orange-garden-inc.jp